

# 麦の穂

発行責任者 医療法人光臨会 理事長 荒木 攻

70

平成29年  
1月16日発行

医療法人 光臨会  
荒木脳神経外科病院  
Araki Neurosurgical Hospital

## 新年御挨拶

皆様、明けましておめでとうございます。

さて、今年はどんな年になるのでしょうか。世界中が未だかつてない不確定な時代に突入いたしました。そんな中で、荒木脳神経外科病院は昨年30周年記念事業を終えて、新たな出発をし、酉年の今年は一層、病院の存在意義を確立する年にしてゆきたいと考えております。

昨年は年明けより、我々が医療の中核として位置付ける脳卒中医療の中でも殊更に一刻を争う超急性期脳梗塞治療に、経皮的脳血栓回収術という方法を取り入れ、積極的に取組みました。

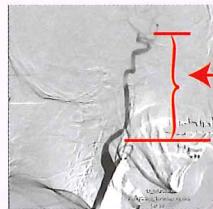
医療はいつでも、どこでも平等に受けられなければならないという立場から、昼夜を問わず365日この手術が受けられるようにいたしました。又、この手術による治療成績は、患者搬入から治療開始までの時間(Door to Puncture time : D2Pといいます)に大きく影響されます。従って、このD2Pを短縮するために院内の体制整備を行いました。これは多職種連携による典型的なチーム医療であります。具体的には、院内患者搬送の動線の効率化、経皮的脳血栓回収術を行うための、これに関わる各部門の役割分担決定、頭部MRIの撮影プロトコールの改善、夜間緊急呼出し体制の見直しなどであります。その結果、取組み開始まではD2Pが134分(中央値)であったのが、その2ヶ月毎の推移をみると89.6分に短縮し、その後もどんどん短縮し、昨年10月には当初の1/3程の44分にまでなりました。この数字は日本中に誇れる素晴らしいものだと考えております。経皮的脳血栓回収術は超急性期脳梗塞治療にとって益々重要になってまいりますので、当院としては更に充実を図ってまいりたいと考えております。

脳血管内治療  
(経皮的脳血栓回収術)



左内頸動脈は頸部で閉塞。

【左内頸動脈撮影】側面像



左内頸動脈は完全再開通し頭蓋内まで描出。

さて、話題は変わりますが、当院にとって今年の大きな行事は、なんといっても7月15日(土)、16日(日)に広島国際会議場で主催する第20回日本臨床脳神経外科学会であります。学会テーマを「2025年問題に向けて-脳神経外科のあり方を展望する-」といたしました。今回私達はこの学会で、脳神経外科領域の医療技術だけにとどまらず、医療行政、医療経営、人材教育など多方面からの演題応募を受けるようにしております。その他、文化講演2題、特別講演2題、教育講演12題、シンポジウム13題ほど予定しております。加えて、国際平和文化都市広島ならではの企画も予定をしております。文化講演は、少林寺拳法グループの宗由貴総裁に「(仮題)平和について」、刀匠 久保善博氏には「古刀の再現をめざして」と題してお願いをしております。教育講演では「脳神経外科のスタンダードを学ぶ」として、12題すべてを聴講いただければ、脳神経外科のほぼ全分野の標準が学べるものとしております。

演題募集は早速、今月1月10日より2月28日までと、間近に迫っております。是非ともこの大会を成功させたいと思っておりますので、関係各位の従来にも増しての御指導御支援の程、よろしくお願ひ申し上げる次第であります。

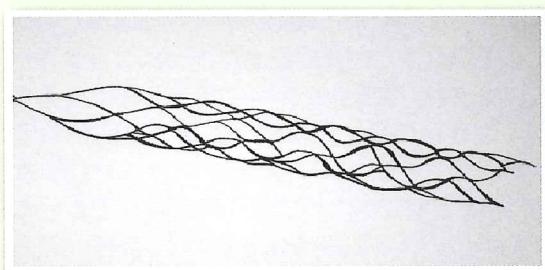
### もくじ

- 1 新年御挨拶
- 2 急性期脳梗塞の最新治療 経皮的脳血栓回収術
- 3 祝別棟竣工  
脳卒中後遺症者の情報交換集いのサロン 燦々会
- 4 西区民まつりに参加  
職員の制服が新しくなりました
- 5 連携医療機関のご紹介 —— 広島記念病院 ——

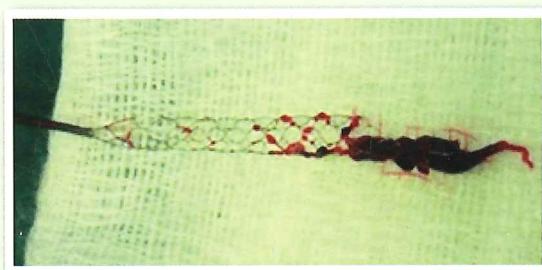
# 急性期脳梗塞の最新治療 経皮的脳血栓回収術

脳梗塞は脳の血管が詰まることで起こります。脳梗塞に陥る前にこの「詰まり」を取り除く再開通療法は2つあります。ひとつはtPA静注療法で、発症から4.5時間以内の急性期脳梗塞に対する標準的な治療で、詰まりを「溶かしてしまう方法」です。しかしこの治療は詰まりが溶けにくい場合、再開通しにくいこと（およそ30-40%）や適応時間が短いことが問題で、その適応患者も限られています。そこで2つ目として溶けないのなら、「引き抜く方法」（血栓回収療法）が注目されるようになりました。2010年頃から器具は発売されていましたが、治療結果は満足いくものではありませんでした。2011年に「血栓を吸引する」ペナンブラ システム（国内販売はメディコス・ヒラタ社）が発売され、その後、2014年にステントを開いて「血栓を絡めとる」ソリティア（コビディエン社）とトレボ（ストライカーチー社）が認可され、治療成績が飛躍的向上し2015年の日本脳神経血管内治療学会においても「経皮的脳血栓回収術」の有用性が多く報告されています。

下図は血栓回収の症例ですが、ステント（図1左）で「絡めとる」ことで（図1右：ステントに絡みついた血栓）、再開通がえられました。（図2）



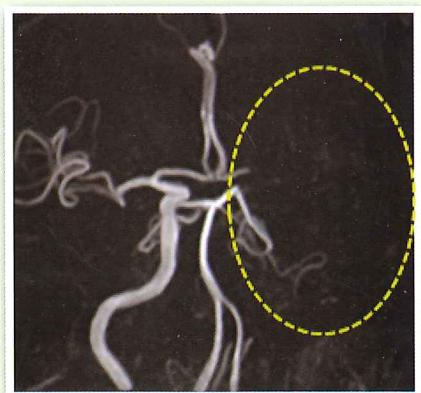
ステント



ステントに絡みついた血栓

(図1)

血栓が非常に大きい場合は、tPA静注療法だけではどうしても再開通が得られないことが知られており、血栓回収療法は非常に有用な手段で、この症例では脳梗塞を最小限に抑えることができました。



治療前のMRA



治療後のMRA

(図2)

しかし血栓回収治療はどの病院でも受けられるわけではありません。また、治療もできるだけ早く開始する必要があります。当院では専門医が3名在籍し、24時間365日いつでも治療ができる態勢を整えており、他病院からの緊急転送患者さんも積極的に受け入れています。

診療部門長 脳血管内治療科主任部長 渋川 正顕

## 祝 別棟竣工

当院の別棟が、平成28年11月14日にオープンしました。この別棟は、延べ床面積322m<sup>2</sup>の2階建てで、オープン当日は、地域の方々を代表して、広島県議会議員の山木 靖雄 様と五福の会会長の木下 義男 様をお招きし、開所式が執り行われました。

1階にはMRIを設置し、2階は更衣室や当直室などとして活用します。この別棟の完成により、質の高い医療を行う診療スペースが充実し、職員の勤務環境も改善しました。

新たに導入したMRIは、GE社製「Discovery MR750w 3.0T」（3.0テスラMRI）で、これにより、当院はMRIが3台となり、より質の高い医療をご提供できるようになりました。

今後も、地域の皆さんに高機能で質の高い医療を提供できるように努めて参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

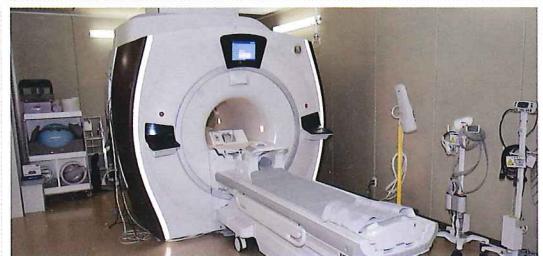
事務部 次長 梶原 誠人



完成した別棟



グランドオープン・開所式



導入したMRI(GE社製「Discovery MR750w 3.0T」)



右から五福の会木下会長、山木県議会議員、荒木理事長、沖院長

## 脳卒中後遺症者情報交換集いのサロン 燦々会

当院を退院された患者様・御家族、そして退院後の生活に不安を抱える入院患者様・御家族が情報交換する場として「情報交換集いのサロン」を開催しています。脳卒中を経験しながらも、退院後の趣味、生き甲斐や悩み事等を共有する場となっています。平成27年3月に第1回を開催、現在6回まで開催しています。

名称の燐々会（さんさんのかい）は「一人一人がキラリと光るものを持っていて、それらを活かしてお付き合いしていきたい」という参加者様の思いが込められています。

患者様・御家族の生活は退院後も続いていきます。当院のような救急病院が退院後の生活までサポートすることは意義深いと考え、支援させていただいている。

リハビリテーション部 理学療法士主任 木村 隼人



第6回(11月19日開催)の様子



退院された患者様からアドバイスをいただきました

## 西区民まつりに参加

平成28年11月6日（日）に第32回西区民まつりに参加させていただきました。西区民まつりは広島市西区が主催し、地域住民の交流を目的に実施されています。

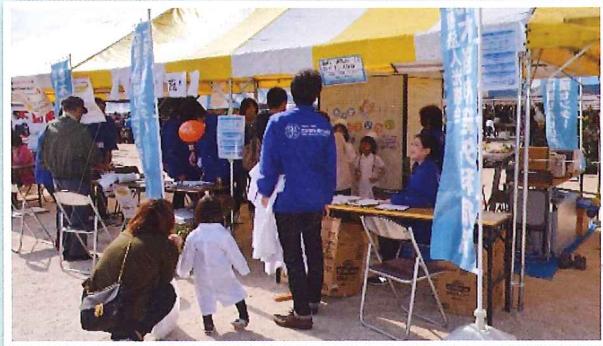
当院からは、沖院長、江本副院長を始め看護師、療法士、ソーシャルワーカーの20名のスタッフが参加しました。当院のブースでは、①InBody（体成分分析）を用いた筋肉・体脂肪バランス検査、②体力測定、③キッズ撮影会を行い、沢山の方々にご参加いただきました。

今年の第33回西区民まつりでも、皆様のお越しをお待ちしております。

地域連携室 係長 尾崎 友哉



西区民まつり風景



当院ブース

## 職員の制服が新しくなりました

医療法人光臨会 荒木脳神経外科病院は、地域の皆様のお陰をもちまして、昨年で開設30年の節目の年を迎えることができました。

そこで、30周年を記念して昨秋10月1日より職員のユニフォーム（制服）を新調し、病院と共に新しいスタートを切りました。新たに導入した制服の選定については、春に選定委員会を設置し、各部署選定委員を中心に職員の制服に対する想いを込めながら、選定作業を進めて参りました。選定作業については各部署とも、意見をとりまとめ、平成28年7月1日（金）に開催された開設30周年記念講演会・祝賀会の席で来賓の皆様を始め、職員へお披露目することができました。

現在は、職員全員が新ユニフォームを身にまとい、患者様のため、地域の皆様のために更に信頼される病院を目指し日々の業務に当たっています。

総務部 部長 山根圭一郎



看護部



事務部



リハビリ部



臨床検査科・診療放射線科



食養部・薬剤部



# 連携医療機関のご紹介



## 広島記念病院

住 所：〒730-0802 広島市中区本川町1-4-3

T E L：082-292-1271(代表)

診療科目：内科／小児科／外科／皮膚科／泌尿器科／  
婦人科／眼科／耳鼻咽喉科／放射線科

院長名：宮本勝也

病院URL：<http://www.kkrhiroshimakinen-hp.org/>



院長 宮本 勝也先生

診療受付時間	月	火	水	木	金	土	日/祝
8:30～11:30	●	●	●	●	●	●	—
13:00～16:00	●	●	●	●	●	—	—

※詳しくは電話でお問い合わせください。

※診療科により診療曜日が異なります。必ず受診を希望する診療科の担当表を病院ホームページにてご確認ください。



広島記念病院は広島市の中心地、平和記念公園の西側、本川町にあります。元々は昭和22年12月に戦災者の救護のために開設され、昭和25年8月に国家公務員共済組合連合会の直営病院となり現在に至っています。

当院では平成28年5月より消化器センターを開設しました。従来から消化器疾患を得意としてきた病院ではありますが、更にレベルアップした、効率的で快適な医療を患者さんに提供するためにセンター化しました。内科・外科が垣根を越えて、一人の患者さんについて相談して治療方針を決定することとし、毎週合同カンファレンスを行っています。また外科においては原則臓器別診療とし、胃、大腸、肝胆脾、食道の担当医を明確化しました。検査から治療まで、良性から悪性まで、広い範囲にわたって各々が責任をもってトップクラスの医療を提供致します。ハード面はまだ改革半ばですが、約2年後には内視鏡室、外来化学療法室等の改築が完成する予定です。快適な環境で検査や治療を受けていただきたいと思います。また消化器センターとは別に、一般内科・一般外科も今まで通り行っています。地域のニーズに応えるべく、紹介医の先生方からの紹介は絶対に断らない医療を展開します。

今回「西区在宅あんしんネット」の高次受入病院として参画させて頂きました。拠点病院である荒木脳神経外科病院との連携を更に強め、消化器内科・消化器外科部門において、西区にお住いの皆さまが住み慣れた地域で安心して生活ができる環境作りに少しでも貢献できればと考えておりますので、今後ともご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。



## 医療法人光臨会 理念

- 一、皆様に安心していただける、  
全人的な医療と介護を目指します

## 荒木脳神経外科病院 理念

- 一、脳神経外科としての専門性を軸に、  
幅広い診療体制で地域医療に貢献します  
一、急性期医療の中核病院として、  
高機能で質の高いチーム医療を行います

## 運営方針

1. 「医療の原点は救急である」  
2. 快適な療養環境と接遇の提供  
3. チーム医療の推進と相互啓発  
4. 「医療と福祉の複合化」の推進

## 患者様の権利

医療法人光臨会 荒木脳神経外科病院は、職員全員が次のような患者様の権利を尊重し、納得と同意に基づいた医療を行います

- 個人の尊厳が守られる権利を尊重します
- 最善かつ安全な医療を受ける権利を尊重します
- 医療に関して知る権利を尊重します
- 個人のプライバシーが守られる権利を尊重します
- 自分自身の治療等について自分で決定する権利を尊重します
- 自分自身の治療について他の医師の意見を聞く権利を尊重します
- 苦情を申し立てる権利を尊重します

## 患者様の義務

- 患者様には適切かつ安全な医療を受ける為、診療上必要な自らの情報をお伝えする義務があります
- 患者様にはお互いに快適な療養生活を受ける為に、定められた規則を守る義務があります。



## 外来担当医表

平成28年9月5日～

		月	火	水	木	金	土
脳神経外科	午前	初診(1診)	主任部長渡辺川	診療部長荒木(勇)	院長 沖	副院長江本	診療副部長加納
		再診(2診)	診療部長荒木(勇)	院長 沖	主任部長渡辺川	診療部長山崎	副院長江本
	午後	初診(1診)	医長 谷	診療部長山崎	広大	診療副部長加納	太田
		再診(2診)	太田			医長 谷	副院長江本
脳神経内科	午前	4 診			青木		
総合診療 (内科・外科)	午前	4 診	診療部長藤井	診療部長藤井	診療部長藤井	診療部長藤井	診療部長渡辺
	午前	3 診	診療部長野村				
	午後	4 診	診療部長渡辺	診療部長渡辺	診療部長野村	診療部長渡辺	診療部長野村
	午前	検査	診療部長渡辺		診療部長野村	診療部長渡辺	
	午後	検査		診療部長野村			
脳神経外科 形成外科 消化器内科	午前	5 診		※平本	理事長荒木 (再診)		消化器内科 井上

## 診察時間

## ◆完全予約制

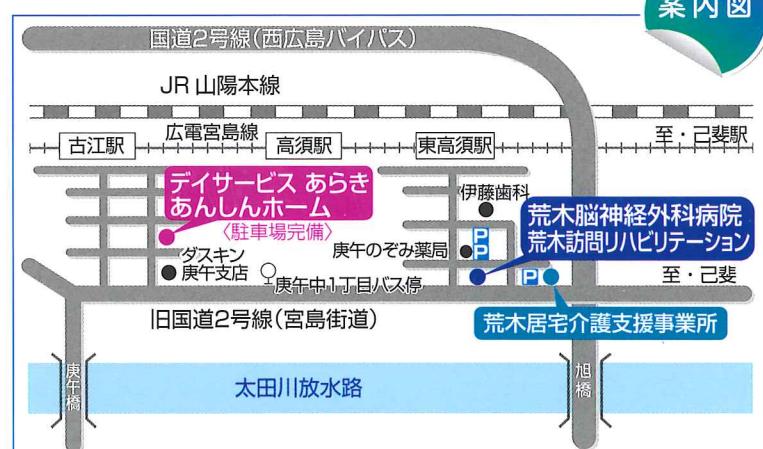
午前 9時～12時  
(初診受付：午前 11時30分迄)  
午後 3時～6時  
(初診受付：午後 5時30分迄)

救急は 24 時間受付けております

## ※形成外科

平本先生(北野病院 形成外科)  
毎月第2水曜日(午前中のみ)  
井上名誉教授  
毎月第2土曜日

## 案内図



## ○自動車

西広島バイパス「庚午出口」より

宮島方向へ100m(宮島街道沿い)

○広島電鉄・宮島線／「東高須」下車 徒歩3分

○広島バス25号線／「庚午北2丁目」バス停前



7月15日(土)・16日(日) 第20回日本臨床脳神経外科学会が開催されます。  
1月10日(火)～2月28日(火)まで演題募集期間となっています。  
振るってのご応募をお待ちしています。